

令和7年5月26日

(一社) 岡山ビルメンテナンス協会

会 員 各 位

(一社) 岡山ビルメンテナンス協会

TEL 086-225-8660 FAX 086-221-1031

拝啓 時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。

労災保険収支率88%を目指した活動の一環として、別紙労災事故発生報告書の毎月の提出に

ご協力頂き有難うございます。4月分につきましては、下記の通りです。

各会員の皆様には、尚一層の安全教育をお願い致します。

尚、5月分の報告を**6月6日までに**、協会事務局 FAX 086-221-1031 まで ご回答賜りますよう、ご協力の程宜しくお願い致します。

敬具

.....  
労災事故発生報告状況 (令和7年4月分)

回答数・率	44社	100%	事故発生件数:	1件	被災者数:	1名			
区分	休業4日未満				休業4日以上				
	業務災害被災者数	男	名	女	名	男	名	女	名
	通勤災害被災者数	男	名	女	名	男	名	女	名
【被災内容・特記事項】									
【転倒】冷温水発生器の運転記録時、段差に足を引っ掛け転倒した際に、右手を床につき、中指付け根付近を打撲した。(76歳男性20年)									

《連絡事項》

- 今回の事故は1件でした。
  - 厚生労働省が熱中症予防対策の一層の取組みを図るよう、「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」を主唱しており、職場での熱中症により、近年は一年間で約30人が亡くなり、約1,000人以上が4日以上仕事を休んでいます。  
キャンペーン期間の5月～9月にすべきことは
    - ① 暑さ指数の把握と評価
    - ② 測定した暑さ指数に応じた次の対策を徹底
      - 暑さ指数の低減 ■ 服装 ■ プレクーリング (作業開始前や休憩期間中に深部体温を下げる) ■ 暑熱順化への対応 ■ 日常の健康管理 ■ 休憩場所の整備 ■ 作業時間の短縮
      - 水分・塩分の接種 ■ 健康診断結果に基づく対応 ■ 作業中の労働者の健康状態の確認 ■ 異常時の対応
- ※ 体調不良の者に異常を認めたときは、躊躇することなく救急隊を要請  
※ 必ず、一旦作業を離れ、全身を濡らして送風することなどにより身体を冷却  
※ 症状が回復しない場合は躊躇なく病院に搬送する (症状に応じて救急隊を要請)